



日勤教育中の仲間に連絡するな？

JR東海労は『人間関係からの切り離し』を許さず、労働組合として当たり前前の闘いをします！

5月16日、運転士が走行中にも関わらずトイレに行くため、約3分間運転台を離れたことは皆さんご存知のことと思います。

現在、当該運転士および関係した車掌長に対し、会社による日勤教育が行われている模様ですが、最近、乗務員間の会話で「彼らに連絡をするな」という言葉が聞こえてきました。これは誰の指示で行われているのでしょうか？なぜ彼らに連絡をしてはいけないのでしょうか？まさか会社が指示しているのでしょうか？



ちなみに、このような『人間関係からの切り離し』は、厚生労働省からパワーハラスメントの定義の一つとして明示されています。もし、このような会話に心当たりがあるなら、今一度この指針を確認してみましょう。

会社は、報道で彼らに対しての厳罰をほのめかしています。毎日、出勤しても一日中誰とも会えない環境下に置かれ、更に仲間との連絡も遮断されたら、彼らの心が折られていくのは間違いないと思いませんか？

私たちJR東海労は、パワーハラスメントを許さず、共に働く仲間を護るための、労働組合として当たり前前の闘いをしていきます！



←厚生労働省による、パワーハラスメントの定義についての資料（平成30年10月17日付）